

KABUKI

久留米で、歌舞伎を

毎年、久留米で開催されている「久留米ちくご大歌舞伎」。今年も10月27日(日)に開催されます。あまり知られていない久留米と歌舞伎のつながりを知って、久留米で、歌舞伎を観てみませんか？

久留米と歌舞伎のつながり、約260年前!?

1621年5月9日有馬初代藩主 有馬豊氏(とよじ)氏が久留米城に入城され、明治維新を迎えるまで約250年間、久留米藩を治められました。第七代藩主 有馬頼僮(よりゆき)氏が五穀神社を建立され境内で相撲や歌舞伎の興行が行われたと伝えられています。ここから久留米と歌舞伎文化のつながりが始まったとされています。



明治時代の久留米城
(久留米市教育委員会蔵)



五穀神社



七代藩主 有馬頼僮肖像
(篠山神社蔵)



久留米ちくご大歌舞伎
演技指導
花柳 津祢里さん
(はなやぎ つねさと)

久留米ちくご大歌舞伎は1970年(昭和45年)久留米・筑後地域の文化の向上と発展を図るために歌舞伎公演を開催したのがはじまりです。以来、半世紀を超える歴史を有し、筑後の秋の風物詩として多くのお客様、出演者、関係者に支えられてきました。今年で51回を迎える久留米ちくご大歌舞伎の軌跡を、継続は力なりの言葉通り次世代へ橋渡ししてゆきたいと思っています。第51回久留米ちくご大歌舞伎、乞うご期待くださいませ。

地域文化の発展と継承のために

第51回 久留米ちくご大歌舞伎

2024年10月27日(日)

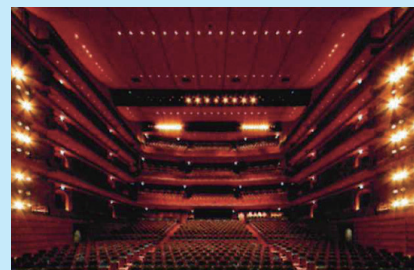
会場:久留米シティプラザ ザ・グランドホール

チケット販売・演目などの情報は公式サイトやInstagramをご覧ください

久留米ちくご大歌舞伎 事務局

TEL.0942-33-5010 ✉ info@ookabuki.com

http://www.ookabuki.com 📷 ookabuki1970



久留米シティプラザ ザ・グランドホール

撮影:大竹 央祐

注目の演目 第51回 久留米ちくご大歌舞伎 新歌舞伎十八番の内「^{ふな べん けい}船弁慶」



ものがたり

兄、頼朝に誤解されたまま都を落ちのびた義経と家来たちは、西国へ向う。都に置き去りにされた愛妾、静御前は恋しい義経のあと追って訪ねてくる。しかし、別れの悲しみをこらえて静は都に戻ることを承知する。やがて、船の用意ができ、船は瀬戸の海へ。穏やかだった海に黒雲が湧き、風波が高くなり船は前へ進まない。荒れ狂う海の中に義経によって滅ぼされた平家一門たち、特に平知盛がすさまじい怨霊と化して現れ「今こそ、恨みを晴らす時」と襲いかかる…弁慶が数珠を揉んで懸命に祈る。義経の想いと、弁慶の一心の祈りが天に通じたのであろうか、知盛は波に巻き込まれ次第に遠ざかっていく。

きっと歌舞伎が好きになる!

「船弁慶」の他、河竹黙阿弥の代表作、江戸の下町情緒を鮮やかに伝える世話物の名作、梅雨小袖昔八丈「髪結新三」、小・中・高校生で演じる「賀祝三人嫁摘菜」「鶯宿梅」など

森 孝一郎さん

